

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称	アースレッド イヤな虫用
整理番号	K991-0
会社名	アース製薬株式会社
住所	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目 12 番地 1
担当部門	開発部
電話番号	03-5207-7464
FAX番号	03-5207-7485
作成/改訂年月日	2021年1月19日 作成

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	皮膚感作性	区分 1
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (神経系) 区分 2 (雄性生殖器、全身毒性)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (副腎)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 1

上記で記載がない危険有害性は、分類できないか区分に該当しない。

### GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H318 重篤な眼の損傷
	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
	H370 臓器の障害 (神経系)
	H371 臓器の障害のおそれ (雄性生殖器、全身毒性)
	H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器の障害のおそれ (副腎)
	H400 水生生物に非常に強い毒性
	H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

### 注意書き

#### 【安全対策】

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- P264 取扱い後は、手をよく洗うこと。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 【応急措置】

P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P308+P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

P308+P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

P310 直ちに医師に連絡すること。

P314 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

P321 特別な処置が必要である。

P333+P313 皮膚刺激又は発しんが生じた場合は、医師の診察/手当てを受けること。

P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

P391 漏出物を回収すること。

#### 【保管】

P405 施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

P501 内容物/容器を自治体の規則に従って廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
成分	ペルメトリン（ピレスロイド系） メトキサジアゾン（オキサジアゾール系）

### 4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて取り除く。皮膚を流水で洗う。 必要に応じて医師の診断を受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用して いて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。 清浄な水で数分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。直ちに医師の措置を受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡（初期火災）、二酸化炭素、粉末
使ってはならない消火剤	情報なし

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
------------	--

環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	電気掃除機、ほうき等で掃き集める。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

#### 安全取扱注意事項

使用に際しては、添付の説明文書を必ずお読みください。また、必要なときに読めるように大切に保管してください。

蒸散した薬剤には強い刺激があるので、換気の際は、必ずタオルなどで口や鼻をおさえて薬剤を吸い込まないようにして入室してください。

使用後は部屋を十分に換気をしてください。※ 目安として1時間程度食器などに直接薬剤がかかった場合は、水洗いしてからご使用ください。衣類やふとんに薬剤がかかった場合は、ブラッシングするか天日干しを行ってください。

人体に使用しないでください。

薬剤を吸い込まないように注意してください。万一吸い込んだ場合、咳き込み、のど痛、頭痛、気分不快等を生じることがあります。特にアレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい体質の人、病人、妊婦、子供は薬剤を吸い込んだり、触れたりしないでください。

退出後、必ず2時間以上経過してから入室してください。換気のために入室するとき、刺激に敏感な人は薬剤を吸い込むと激しく咳き込み、嘔吐したり、呼吸が苦しくなることがあります。必ず、タオルなどで口や鼻を押さえて薬剤を吸い込まないようにしてください。アレルギー症状やかぶれを起こしやすい体質の人などは、特に注意をしてください。

使用する部屋や家屋から薬剤が漏れないように注意してください。漏れた薬剤を吸入すると上記のような症状になることがあります。

缶をセットしたら、すみやかに部屋の外に出て、戸を閉めてください。

缶は水に浸すとすぐに熱くなるので、直接手を触れないでください。ヤケドをする恐れがあります。

使用後は、部屋を十分に換気してから入室してください。

万一身体に異常が起きた場合は、直ちにこの文書を持って本品がピレスロイド系薬剤とオキサジアゾール系薬剤の混合剤であることを医師に告げて、診療を受けてください。

定められた使用方法・使用量を守ってください。

皮膚、目など人体にかからないようにしてください。薬剤が皮膚についた場合は、石けんと水でよく洗ってください。また、目に入った場合は、直ちに水でよく洗い流してください。

火災報知器が作動することがあります。火災報知器の直下では使用せず、一時的に添付の専用カバーまたはポリ袋などで覆いをして使用してください。その際、火気の管理には十分注意し、処理後は必ず覆いを取り除いてください。

飲食物、食器、子供のおもちゃ、飼料、美術品、仏壇仏具などに薬剤がかからないようにしてください。

小鳥などのペット類、観賞植物は換気するまで部屋の外に出してください。また、観賞魚や観賞エビはエアープンプを止めて完全密閉(水槽に覆いをして、ガムテープなどで密閉する)にして使用するか、部屋の外に出して

ください。使用后十分に換気をした後、ビニールを取りエアポンプを動かしてください。室外に出した水槽は、使用后十分に換気をした後で元に戻してください。

本品は、ふとんなど寝具の害虫駆除には使用しないでください。

使用後は、小さな虫の死骸などを取り除くため軽く掃除機掛けなどを行ってください。

#### 保管

安全な保管条件

直射日光（車の中等）や火気を避け、子供の手の届かない涼しいところに保管すること。

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる

### 8. ばく露防止及び保護措置

保護具

必要によりマスク、保護手袋／眼鏡／服等の適切な保護具を着用

### 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

内包装袋で包装されたものが外装容器に収容されている。

本品の薬剤部分は殺虫顆粒充てん部及び発熱剤充てん部に分けられた2重缶。

色

淡黄色～黄橙色（殺虫顆粒）

臭い

蒸散時に特異な臭いがする。

沸点又は初留点及び沸点範囲

情報なし

可燃性

情報なし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

情報なし

引火点

情報なし

自然発火点

情報なし

分解温度

情報なし

pH

情報なし

動粘性率

情報なし

蒸気圧

情報なし

密度及び／又は相対密度

情報なし

相対ガス密度

情報なし

粒子特性

情報なし

### 10. 安定性及び反応性

反応性

反応性なし

化学的安定性

製品として3年間の安定性が推定されている。

危険有害反応可能性

情報なし

避けるべき条件

熱（特定温度以上の加熱など）、圧力、衝撃、静電放電、振動、他の物理的応力など

混触危険物質

情報なし

危険有害な分解生成物

情報なし

### 11. 有害性情報

急性毒性 経口毒性 (LD<sub>50</sub> 値)

ラット 2,000 mg/kg以上

皮膚腐食性／刺激性

区分に該当しない

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

区分1

呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分に該当しない	
発がん性	区分に該当しない	
生殖毒性	区分 2	
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 1 (神経系)	
	区分 2 (雄性生殖器、全身毒性)	
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2 (副腎)	
誤えん有害性	区分に該当しない	

## 1 2. 環境影響情報

製品としての環境有害性情報：製品としての情報なし

生態毒性	水産動物への影響 (原体データ) (ペルメトリン) コイ：LC <sub>50</sub> (96 h) 0.24 mg/L ニジマス：LC <sub>50</sub> (96 h) 0.0032 mg/L ブルーギル：LC <sub>50</sub> (96 h) 0.0032 mg/L オオミジンコ：EC <sub>50</sub> (48 h) 0.0072 mg/L 藻類：ErC <sub>50</sub> (0-72 h) > 0.9 mg/L (メトキサジアゾン) コイ：LC <sub>50</sub> (96h) > 10mg/L
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	製品に記載された方法や内容物を各自治体で定められた規則に従って廃棄すること。
汚染容器・包装	空容器やフィルム等は各自治体で定められた規則に従って廃棄すること。

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号	UN 1910
品名	酸化カルシウム
国連分類	8
副次危険性	-
容器等級	III
国内規制がある場合の 規制情報	情報なし

## 1 5. 適用法令

化管法	ペルメトリン
労働安全衛生法	該当しない
毒劇物取締法	該当しない
化審法	該当しない
消防法	該当しない
薬機法	該当しない

---

農薬取締法	該当しない
高圧ガス保安法	該当しない

#### 16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見取り図を対象としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。